

学校図書館活用促進事業 事例集



令和2年3月

北海道教育委員会

目次

「学校図書館活用促進事業」について	1
学校図書館の目的・機能	2
学校図書館の計画的な活用	
学校図書館全体計画例	3
学校図書館年間活用計画例	4
学校図書館を活用した授業実践例	
栗山町立栗山小学校	5
新冠町立新冠小学校	7
利尻富士町立鴛泊小学校	9
池田町立池田中学校	11

「学校図書館活用促進事業」について

学校図書館は、読書活動の推進のために利活用されることに加え、調べ学習や新聞を活用した学習など、各教科等の様々な授業で活用されることにより、学校における言語活動や探究活動の場となり、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に資する役割が一層期待されています。

しかしながら、本道においては、学校図書館を利用する児童生徒や、授業において計画的に学校図書館を活用している学校の割合が全国と比べて低い傾向にあることから、学校図書館について、全ての教職員が理解し、学校全体で計画的に学校図書館を活用できるよう、昨年度から3年間にわたり実施している事業です。

北海道学力・体力向上総合推進事業 「学校図書館活用促進事業」

課題

- 学校司書の資質・能力の向上を図るとともに、学校図書館の効果的な活用について管理職をはじめ全ての教員の理解を促す必要がある。
- 年間を通した計画的な学校図書館の活用につながるよう、学校全体での取組を位置付ける必要がある

事業概要

- 3か年にわたり全道14管内で、学校図書館の環境整備や学校図書館を活用した授業づくりについての研修会を実施

研修会会場校(指定校)の選定
(教育局が選定※校種は生涯学習課が指定)

「学校図書館活用促進研修会」の実施
(教育局による運営)

平成31年度までの3年で14管内実施

- ・H29→(小学校)留萌、オホーツク、釧路(中学校)石狩、渡島
- ・H30→(小学校)後志、檜山、根室(中学校)胆振、上川
- ・H31→(小学校)空知、日高、宗谷(中学校)十勝

- 参加対象 各管内の学校図書館担当教員等
※各市町村、小学校1名・中学校1名の参加期待数
- 実施時期 9月～12月の1日間
- 研修会の主な内容(案)

会場校は、生涯学習課及び教育局の指導助言のもとで、次の事項に取り組む。

- 学校図書館全体計画等各種計画の整備
- 学校図書館を活用した授業実践
- 市町村立図書館と連携した読書活動
- 学校図書館の環境整備

講座名	内容
学校図書館の在り方	基本的事項(学校図書館ガイドライン等)、教育課程との関連等についての講話
授業公開・研究協議	学校図書館を活用した授業公開
事例発表	学校図書館の環境整備、全体計画・指導計画、授業づくりについての発表
全体計画・指導計画作成	自校の資料等を持ち寄り、演習・協議

研修の成果をまとめた事例集の発行
(生涯学習課が作成)

この「学校図書館活用促進事業」では、全道14管内で、小学校または中学校1校を指定校としています。指定校においては、平成31年度までの3か年のうち1回、学校図書館の環境整備や学校図書館を活用した授業づくりについての研修会(学校図書館活用促進研修会)を開催するとともに、学校図書館全体計画等各種計画の整備や学校図書館を活用した授業実践等に取り組んでいます。

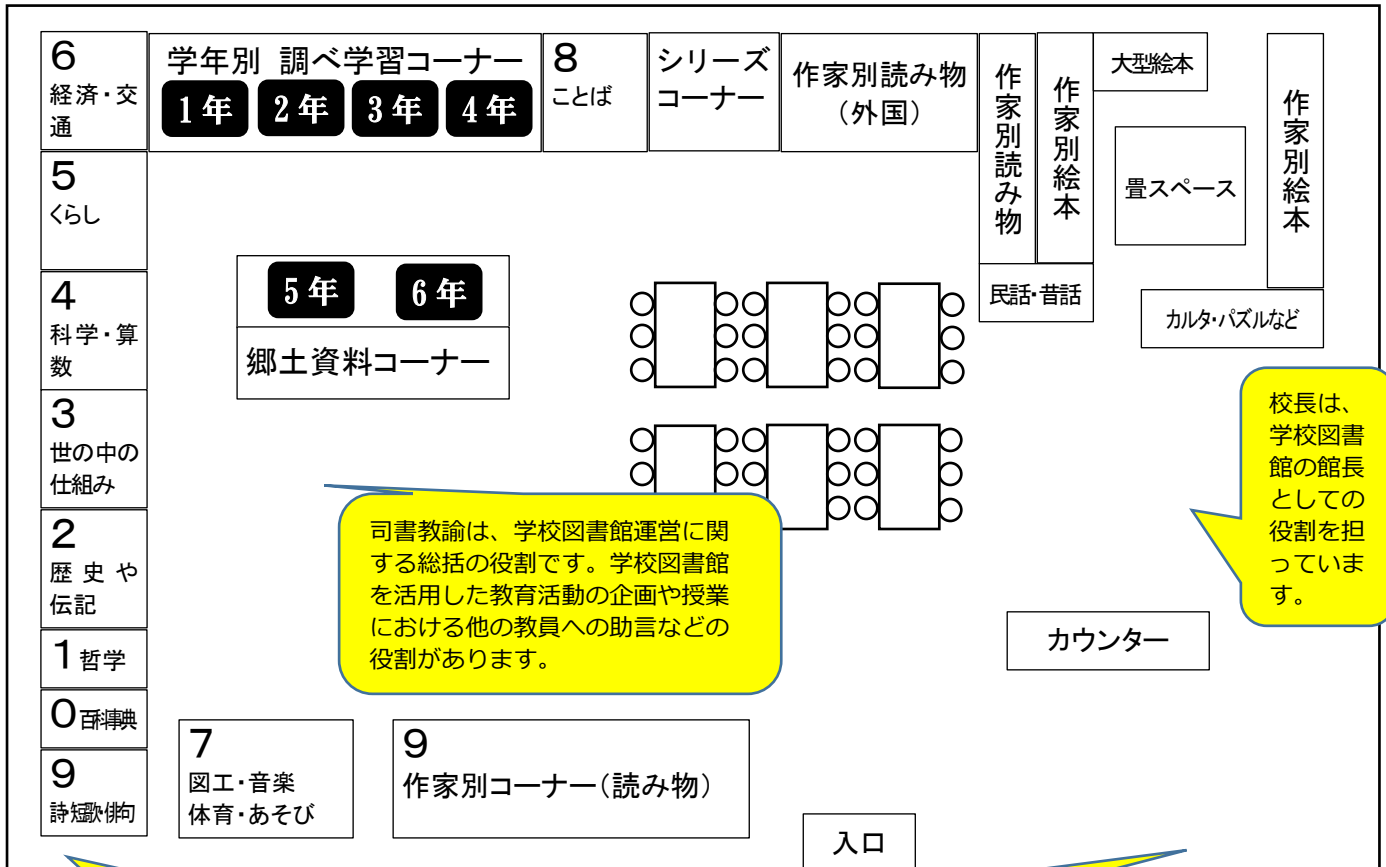
本事例集は、今年度「学校図書館活用促進研修会」を開催した4校の指定校による授業実践を中心に、指定校の取組の一部をまとめましたので、各学校における学校図書館活用の促進にお役立ていただければと思います。

学校図書館の目的・機能

学校図書館には、児童生徒の読書活動や児童生徒への読書指導の場である「読書センター」、児童生徒の学習活動を支援したり、授業の内容を豊かにしてその理解を深めたりする「学習センター」、児童生徒の情報の収集・選択・活用能力を育成する「情報センター」としての機能を有しており、これらのことによって、学校の教育課程の展開に寄与し、児童生徒の健全な教養を育成する施設です。

「学校図書館全体計画」に基づき、教職員の連携の下、計画的・組織的に運営されます。

A小学校の学校図書館の例



司書教諭は、学校図書館運営に関する総括の役割です。学校図書館を活用した教育活動の企画や授業における他の教員への助言などの役割があります。

校長は、学校図書館の館長としての役割を担っています。

図書館資料は、市町村立図書館と同様に、日本十進分類法（NDC）で分類され、児童生徒及び教職員が利活用しやすいようにしています。

学校司書は、学校図書館を運営に関わる専門的・技術的職務に従事します。例えば、図書の整理や貸出業務などのほか、教科等で使用する資料づくりの支援などの役割があります。

「読書センター」として

児童生徒の興味・関心等に応じて、自発的・主体的に、落ち着いた読書できる環境です。

「学習センター」として

各種指導計画等に基づき、各教科等の授業で、児童生徒の主体的・意欲的な学習活動を展開します。

「情報センター」として

教員の授業づくりや教材準備に利用される場でもあります。

これからの学校図書館には、主体的・対話的で深い学びを効果的に進める基盤としての役割が期待されています。例えば、児童生徒がグループ別の調べ学習等において、課題の発見・解決に向けて必要な資料・情報の活用を通じた学習活動を行うことができるよう、図書資料等の充実や、学習しやすい機の配置などが求められています。

学校図書館の計画的な活用

学校図書館が期待されている役割を最大限に発揮することができるよう、教育課程との関連を踏まえた学校図書館の利用指導・読書指導・情報活用に関する各種指導計画等に基づき、計画的・継続的に学校図書館の利活用が図られるよう努めることが大切です。

学校図書館全体計画例(池田町立池田中学校・抜粋)

池田町立池田中学校

学校図書館教育全体計画

「学校教育目標」や学校経営方針等に基づいて、学校図書館の目標を定めます。

関係法令等

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学校図書館法
学習指導要領

学校の教育目標

全力をつくす生徒

1. 丈夫な生徒 2. 学ぶ生徒 3. 共に進む生徒 4. 働く生徒 5. 正しい生徒

社会的背景

生徒の実態
保護者の願い
地域の実態
教職員の願い

学校図書館教育の目標

子ども達の学びを支え、読書を通じて豊かな人間性を育む学校図書館の創造

【読書センターとして】読書活動を通して言葉の力を培い、豊かな感性と想像力の育成を図る。

【学習センターとして】調べ学習を支えるスキルを身につけ、問題解決能力の育成を図る。

学校・学年の実態に応じ、重点項目を具体的に設定します。
見だし、情報を収集・選択し、効果的に用いることができる生徒の育成を図る。

各学年の目標

	学校図書館の活用指導	読書指導
第1学年	学校図書館の利用の仕方を知り、目的に応じて積極的に読書したり、調べたりする態度を育てる。	読むことの楽しさを知り、積極的に読書する態度を育成する。
第2学年	必要な情報を収集し、学習に役立てることができる情報活用能力の育成を図る。	学校図書館を計画的に利用し、生徒の主体的、意欲的な読書活動を推進する。
第3学年	集めた情報を分類・選択し、効果的な方法で表現することができる能力の育成を図る。	学校図書館を積極的に活用し、読書の幅を広げ、豊かな感性と想像力を培う読書活動を推進する。

家庭や地域との連携について、具体的な内容・方策を示します。

具体的な取り組み

各教科等の特性に応じて、全教職員、全学級で取り組める内容とします。

各教科・総合的な学習の時間

- 資料を利用した学習方法の指導
- 問題解決型学習の定着を図ることによる、自主学習への意欲の喚起。
- 思考や想像力の幅を広げる、関連図書の紹介。
- 自ら課題を設定し、追究するための情報活用能力を育成する活動の工夫。

地域・家庭との連携

- 図書館ボランティア参加への呼びかけ
- 図書だよりの家庭配布
- 池田町図書館との連携

読書活動

- 朝読書の推進 ○ビブリオバトル
- 教科での指導内容に関連する図書の紹介
- 「池田町子どもの読書」感想文集の取組

道徳

- 人間の生き方などについて、読み物を通して考える活動の設定。

特別活動

- 生徒会図書委員会の活動(委員のお勧めコーナーの設置、学級文庫の入れ替え)

学校図書館年間活用計画例(栗山町立栗山小学校・抜粋)

各学年・各教科等で学校図書館を活用する学習単元等を示します。

目標		本の世界を深める(6年)				
月		4月	5月	6月	7月	8月
図書館の利用方法		学校図書館の利用の仕方	事典・年鑑・伝記・歴史の利用	教科学習と図書 の活用	本の紹介	図書の活用
教科・領域等	国語科	考えや意見をノートにまとめよう		春はあけぼの	川とノリオ	
	他教科	社)大陸に学んだ国づくり 理)人や他の動物の体	社)大陸に学んだ国づくり 理)人や他の動物の体			社)新しい文化と学問
	道徳	自分がめざすところまで	地球を救う	権利と義務		
	特別活動		避難訓練について	交通安全について	夏休みの計画	
	総合的な学習の時間	栗山町や他市町の歴史と伝統	栗山町や他市町の歴史と伝統	栗山町や他市町の歴史と伝統	栗山町や他市町の歴史と伝統	栗山町や他市町の歴史と伝統

学校図書館年間活用計画例(東神楽町立東神楽中学校・抜粋)

各教科での活用のほか、朝読書の時間など、教育課程外の時間の活動を含めることも考えられます。

学年	国語	社会	理科
1学年	各時期 各単元での語句調べ 4月 身近なテーマについて調べる 5月 漢字の組み立てを調べる 8月 読書案内→ポップ作成 11月 故事成語を調べる 12月 読書案内 1月 漢字のなりたちを調べる	5月 人物カードの作成 8～1月 世界の諸地域(各州の文学作品) 2月 世界のさまざまな地域の調査	6～10月 植物の世界(植物図鑑)
2学年	各時期 各単元での語句調べ 5月 職業ガイドを作る 6月 新聞活用 7月 言葉の比較→類語辞典活用 読書案内 10月 同音異義語を調べる 12月 読書案内	8月～1月 日本の諸地域(各地域ガイドマップ) 2月 身近な地域の調査(地形図、景観写真)	4～6月 動物の世界(動物図鑑) 7～10月 原子・分子(元素図鑑) 10～12月 天気図(新聞)

栗山町立栗山小学校

学校図書館活用のポイント

- ① 児童の学習意欲の向上を図ることを目的に、作成したカードを来館者の目に触れる町立図書館のギャラリーに展示した。
- ② 町立図書館において、授業で使用する図書や、単元の導入で活用する紙芝居などの選定を行っている。

1 単元名

「心にのこったところをつたえ合おう」（小学校第2学年 国語科）

2 単元の目標と評価規準

【単元の目標】

・人物の動きや場面の様子の楽しさを読み、読書の世界を広げる。〔読むこと〕

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語に関する知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・物語を読んで面白かったことなどについて感想をもち、進んで紹介し合おうとしている。 ・自分が好きなおにの本をすすんで紹介しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「赤おに」や「村人」などの様子や気持ちの移り変わりをノートなどに書き、発言している。 ・今までに読んだ本を思い出したり、図書館で探したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文の中で、誰がどうしたかという主語と述語を照応させて読んでいる。 ・誰が出てきて、どうなる話かを意識して読んだり紹介したりしている。

3 単元の指導計画

時	○本時の目標 ・主な学習活動	■評価規準 □評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> ○今後の学習の見通しをもち、登場人物について感想を書く。 ・全体を通読し、登場人物について考えたことをノートに書く。 ・感想を発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■学習の見通しをもち、登場人物についての感想を書いている。 【関・意・態】 □ノート、発言
2	<ul style="list-style-type: none"> ○登場人物のしたことや気持ちの変化を整理して気付いたことを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■登場人物のしたことや気持ちの変化を整理して、気付いたことを話し合っている。 【読む】
3	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動や考えたことを表に整理する。 ・登場人物がどのように変化したかを話し合う。 ・話し合っただけで気付いたことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> □ワークシート、発言
4	<ul style="list-style-type: none"> ○心に残った箇所について、その理由を話してから、音読をする。 ・『ないた赤おに』のお話の中で、心に残ったところを振り返る。 ・選んだ理由を書く。 ・心に残ったところを、声に出して読み合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■伝国心に残った箇所について、その理由を話してから、音読している。 【読む】 □ノート、行動
5 本時	<ul style="list-style-type: none"> ○「お話びじゅつかん」の概要を知り、「お話びじゅつかん」を作ろうとする意欲をもつ。 ・『ないた赤おに』の学習を振り返る。 ・「お話びじゅつかん」の作り方を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■「お話びじゅつかん」の概要を知り、「お話びじゅつかん」を作ろうとする意欲をもっている。 【関・意・態】 □ノート
6	<ul style="list-style-type: none"> ○好きな本の中から、心に残った場面やできごとを絵に描いて紹介する計画を立てる。 ・自分の読書経験を振り返る。 ・教科書に紹介されている本などを参考に、図書館を活用し、選書する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■好きな本の中から、心に残った場面やできごとを絵に描いて紹介する計画を立てている。 【読む】 □ノート、行動
7	<ul style="list-style-type: none"> ○読みたい本を探して読書し、心に残ったことを絵にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■読みたい本を探して読書し、心に残ったことを絵にしている。 【読む】
8	<ul style="list-style-type: none"> ・読みたい本を選んで読書する。 	<ul style="list-style-type: none"> □行動、作業
9	<ul style="list-style-type: none"> ・読んだ本の中から絵にしたいお話を選ぶ。 	
10	<ul style="list-style-type: none"> ○できた絵に、ふさわしい題名をつける。 ・題名の工夫を確認する。 ・絵の題名を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ■できた絵に、ふさわしい題名をつけている。 【読む】 □行動、作業
11	<ul style="list-style-type: none"> ○絵を教室や廊下などに展示し、自分の読んだ本を紹介し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■絵を教室や廊下などに展示し、自分の読んだ本を紹介し合っている。 【読む】
12	<ul style="list-style-type: none"> ・本の紹介の仕方を確認する。 ・「お話びじゅつかん」をめぐって、本の紹介をし合う。 	<ul style="list-style-type: none"> □行動、ノート

4 本時の学習

□本時の目標

- ・「お話びじゅつかん」の概要について理解し、学習の見通しをもつ。(読むこと)

□本時の展開

過程	○学習活動	■評価規準 □評価方法 ◇留意点
導入	<p>○「野沢さんから『お話びじゅつかんを作ってほしい』とお願いされました。お話びじゅつかんとは何でしょうか。」</p> <p>○本時のめあてを書く。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">めあて：「お話びじゅつかん」とは何だろう。</p>	<p>■「お話びじゅつかん」について知る必要感を抱かせる。</p> <p style="text-align: right;">【関心・意欲・態度】</p>
展開	<p>○はじめに、野沢さんに「お話びじゅつかん」の説明を聞いてみましょう。</p> <p>・「お話びじゅつかん」は図書館のギャラリーに、本を読んで心に残ったところを書いた絵とカードをかざるものです。</p> <p>○どのような絵ですか。またカードには何が書いてありますか。隣の人と確かめましょう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【絵】・・・心に残ったところの絵</p> <p>【カード】・・・本の題名・作者・絵の題名・自分の名前</p> </div> <p>○どこに何を作ることがわかりましたね。お話びじゅつかんを見るのは誰ですか。では、図書館に来る人とはどのような人でしょうか。</p> <p>○図書館に来る人は、お話びじゅつかんを見てどのようなことを思うでしょうか。</p> <p>○私たちが作るお話びじゅつかんは、図書館に来る人が見るのですね。どんなびじゅつかんを作りたいですか。</p> <p>※きれいな・すてきな・たくさんの人が見てくれるもの</p> <p>※もっと図書館が好きになるもの</p> <p>※見た人がお話を読みたくなるもの</p>	<p>◇説明を聞くことで、どこで、何を作るかを明らかにする。</p> <p>◇今後、絵とカードを作るため、必要な条件を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【ポイント①】</p> <p>児童の学習意欲の向上を図ることを目的に、作成したカードを来館者の目に触れる町立図書館のギャラリーに展示した。</p> </div> <p>◇カードを作るための目的（相手）意識を持たせる。</p> <p>◇児童の発言を問い返ししながら作りたいびじゅつかんのイメージを共有していく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【ポイント②】</p> <p>町立図書館において、授業で使用する図書や、単元の導入で活用する紙芝居などの選定を行っている。</p> </div>
終末	<p>○学習をまとめます。今日わかったことは何ですか。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">まとめ：お話びじゅつかんとは、心にのこったところを絵にかいて図書館に来る人がもっとお話を読みたくなるためのもの。</p> <p>○学習を振り返りましょう。今日の学習でわかったこと、これからやってみたいことを考えてノートに書きましょう。</p> <p>※早くお話びじゅつかんを作りたいと思った。</p> <p>※お話びじゅつかんを作ると図書館のためになると思った。</p> <p>○振り返りを発表しましょう。</p>	<p>■「お話びじゅつかん」を作ろうとする意欲をもっている。</p> <p style="text-align: right;">【関心・意欲・態度】</p> <p>□ノート、発言、行動</p>

「チーム読書」栗山小学校の取組

取組 図書館司書による学習支援



・国語科の授業において、本の帯紙やPOPを作成する学習の際、それらの作成の仕方の指導を受けるとともに、並行読書などを行う際、学習課題に適したテーマの本を選書・紹介してもらっています。

